

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3990100160
法人名	社会福祉法人 ふるさと自然村
事業所名	グループホーム 大津
訪問調査日	平成20年12月3日
評価確定日	平成21年1月29日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3990100160		
法人名	社会福祉法人 ふるさと自然村		
事業所名	グループホーム 大津		
所在地 (電話番号)	高知市大津乙922-1 (電話) 088-866-3091		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年12月3日	評価確定日	平成21年1月29日

【情報提供票より】(平成20年10月30日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成19年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	14人	常勤6(内兼務2)人、非常勤8人、常勤換算12.6人	

(2)建物概要

建物形態	併設 単独	新築 改築
建物構造	鉄骨 造り	
	3 階建ての	2 階 ~ 3 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	32,000~40,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4)利用者の概要(10月30日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名	
要介護1	8名	要介護2	5名			
要介護3	5名	要介護4	名			
要介護5	名	要支援2	名			
年齢	平均	85.6歳	最低	65歳	最高	95歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	南国中央病院・かがみ診療所・瀬戸内科・前田歯科クリニック
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開所1年目の新しい施設であり、2階と3階がグループホームで、1階はデイサービスセンターを開設すべく準備中である。利用者と職員の笑顔が印象的で、穏やかな時間を個々のペースで過ごしており、理念にある「個人として尊重する」を実践している事業所である。昼食の盛りつけを互いに声を掛け合っており、食事時間にも「・・・これあるかね?・・・食べたや・・・」と、互いに気遣いながら穏やかな雰囲気でも過ごしている。今後、地域との交流、家族との繋がりが深まることを期待したい。
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 今回は初めての外部評価である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 運営者、管理者、職員全員が評価の必要性を理解しているが、自己評価については、管理者、計画担当者及び一部の職員で行い、職員全員では検討していない。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は定期的開催し、利用者本人も参加し、事業所の報告、参加メンバーからは意見等が出されているが、より一層、双方向的な会議になるよう努めている。また、第1回の家族会が12月に開催予定で、こうしたことを受けて、運営推進会議への家族の参加が増え更に発展することを期待したい。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 今まで苦情箱には家族からの意見や苦情は出されていないが、口答での苦情や相談は個別にあり、その都度対応して報告書を作成し、職員にも周知している。2月に第1回の家族会を開催する予定であり、家族同士が話し合い、更に意見や要望が出しやすい支援や取り組みができることを期待したい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町会に加入し、地域の行事(一斉清掃・地区会・文化祭・敬老会等)や近くの保育園、小学校の運動会に参加するなど交流を図っている。今後、避難訓練に地域住民の協力を得るなど、地域との連携が更に深まる取り組みを期待したい。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「家族や大切な人との交流、また地域との結びつきを大切にしていきます。」という、地域密着型サービスとしての理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 毎朝のミーティングや職員会で話し合っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 「個人として尊重し、その人らしい生活を送れる」ように、利用者への言葉かけやケアに努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 リサイクル活動、地区の一斉清掃、敬老会、小学校や保育園の運動会などに参加し、交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 評価の意義とねらいについては運営者、管理者、職員で話し合っているが、自己評価については全職員で取り組んでいない。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 今回が初めての外部評価である。	○	自己評価を全職員で取り組むことにより、職員の意識合わせ、ケアの振り返りや見直しが可能となるので、今後の取り組みが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 事業所から活動報告を行い、参加者は少ないが利用者や家族も参加し、メンバーから意見も出してもらい、双方向的な会議になるように努めている。 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 今回が初めての外部評価である。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 町内会や行事などで市の担当者とお会いする機会はあるが、積極的な交流には至っていない。	○	事業所から市へ出向き、事業所の様子や実情を知ってもらうなど積極的な取り組みを行うと共に、市サイドには、事業所を活用してもらうなどの交流を行う中で、より一層サービスの質の向上に取り組むことを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族の来訪時にその都度、利用者の状況について報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 11月にホーム便り「えんむすび」の創刊号を発行し、今後2カ月に1回発行していく予定である。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 事業所として金銭は預かっておらず、必要な場合は事前に預かり、支払い後に領収書を渡し、確認のサインももらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 玄関脇に苦情箱を設置している。第1回の家族会を12月13日に開催する予定である。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 今まで苦情箱には家族からの意見や苦情は出されていないが、口答での苦情や相談は個別にあり、その都度対応して報告書を作成し、職員にも周知してサービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 今までに退職者が2名いるが、管理者の異動はなく、馴染みの職員が支えることが出来る体制となっている。 <input type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 職員が代わる時の引き継ぎ期間は取っていない。	○	利用者や家族との信頼関係を築くためにも、職員が代わる時には引き継ぎ期間を十分にとり、利用者へのダメージを防ぐ取り組みを期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 研修の情報は全職員に提供し、月1回の施設内研修・施設外研修(県、市、法人内等)に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 研修内容は職員会で報告し、研修報告書をファイルしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 全国組織の同業者ネットワークに加入している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 支援センターで行っている学習会に参加して互いに交流するほか、同一法人のグループホームとの交流も行っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。 面接や情報提供で本人の心身の状況、生活歴、病歴等を把握し、本人や家族の意向も確認している。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 本人や家族が事業所の見学を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。 管理者と職員の2名で面接している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>共に生活をして楽しむという共通認識のもと、食事づくり、後片付けなど協働して生活する場面作りを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>不安そうな表情の時は「大丈夫ですか」と声をかけたり、花を見ている利用者には「お花がきれいですね」などと声をかけ、利用者の思いを共感し理解するように努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>利用者の生活歴や聞き取りを中心に暮らし方の希望を把握するようにしており、毎日の生活の中でも意向の確認に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>希望を表しにくい人には、家族から情報を得るようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>担当者会議に家族が来訪できない時もあるが、他の来訪時等に確認し、本人や家族の意見を反映した介護計画作成に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>3カ月ごとに見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>退院時や介護度が変わった時には見直し、個別の期間設定を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>協力医療機関による月2回の往診や、同一法人のグループホームと兼務の看護師の配置により、医療処置を受けながら事業所での生活を継続できるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>特別な外出希望や外泊は今のところあまり無いが、本人や家族の状況に応じて通院や送迎支援を行っている。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p>受診や通院は基本的には家族にお願いしているが、本人や家族の希望に応じて柔軟に対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>協力医療機関や家族との情報交換により受診結果を共有している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>看取りに関する指針を定め、医師、看護師とも話し合い、家族の希望に沿った終末期のケアを提供できることを知らせて話し合っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>現在該当者はいないが、本人や家族の意向を踏まえ取り組める準備は整えている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 排泄誘導や食事の言葉かけなど、ゆったりとさりげなく行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関することを話さないことを徹底している。 ミーティング等で徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 個人情報保護法についての学習会を行い、徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 利用者一人ひとりの希望を把握しており、その都度声をかけ意思の確認を行い、柔軟な支援に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 食事の時にも、利用者にあわせた対応を行うなど、利用者のペースを大切にしている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 食事の準備、配膳、下膳等利用者の出来ることや気持ちを大切に、一緒に進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 ほとんど屋間に入浴しているが、仲の良い利用者同士の入浴や夜間を希望する利用者の入浴にも対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 言葉かけに工夫したり、入浴券を作って興味を持たせたりするなどして、入浴支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 食事の準備や調理の時だけでなく、医師をしていた人から問診のように話を聞いてもらったり、ヘルパーをしていた人に共にお世話をしてもらうなど、利用者の経験や知恵を発揮できる場面作りを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 日常生活の色々な場面で、それぞれの利用者の気分が乗ってくるように声かけに工夫をし、働きかけを行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 近くの公園、道の駅、スーパーなどに出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 車いすの人が3名いるが、介護タクシーなどを利用して積極的に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 日常的に散歩(散歩できない人は外気浴を兼ねて1階の菜園を見る)、買い物、みかん狩り、あじさい見物、コスモス見物などに出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外出傾向のある利用者にはさりげなく声をかけ、一緒に散歩したりして対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 近くの交番、町内会の役員、近所の人達など、声をかけてもらえる関係ができている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 事業所内の訓練は行っているが、地域住民参加の訓練は出来ていない。 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 避難路の確保や消火器の点検は出来ているが、非常用食料・備品の準備が出来ていない。	○	災害時には地域住民の協力は不可欠であるので、町会や運営推進会議等で協力を呼びかけ、地域住民の参加、協力を得た避難訓練を行うことを期待したい。また、非常用食料・備品も準備することが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 食事量、水分量ともチェックしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 利用者の希望を聞き、鍋料理、手打うどん、おはぎを作るなど、栄養のバランスにも配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p>	○	<p>利用者の栄養バランスを確保するためにも、定期的に栄養士や保健師等による、専門的なチェックを受けることが望まれる。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 共用空間には、ソファや椅子を配置し、それぞれの利用者が居場所を確保できるよう配慮している。また、日当たりが良く、居心地の良い安心して過ごせる場所となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。 利用者の作った作品や写真を飾り、家庭的な雰囲気壊さない飾り付けとなっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 要所要所に活け花を飾り、季節感に配慮した空間となっている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 箆笥、座椅子、テレビ、写真、家族手作りの物など馴染みの物を置き、個別に工夫した居室となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p>		